DVDプレーヤー
A-DC201-D1

取扱説明書

保証書添付

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

- 本機の性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使い頂くために、ご使用前にお読みください。お読みになった後に、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書に、「お買い上げ日、販売店名」などの記入があるかを必ずお確かめください。

目次

安全上のご注意

■ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。
■お読みになった後もいつでも見れるところに必ず保管してください。

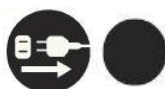
絵表示について

この取扱説明書には、使用者が製品を安全に使われる為理解し易いように色々な絵表示を使用しています。誤った取扱をすることによって生じる内容を次のように区分しています。何れも重要な内容ですので、必ず守ってください。

絵表示の例

警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性及び、物の損傷の発生が想定される内容を示しています。

分解禁止
記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

記号は、使用者の行為を指示強制したりする内容であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜く）が描かれています。

警告

禁止

交流100V以外の電圧では使用しないで下さい。＊火災・感電の原因となります。

禁止

＊本機に水をかけたり、濡らしたりしないで下さい。
＊本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置くと、火災・感電の原因となります。

禁止

本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、落としたりしないで下さい。
＊火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

電源コードやプラグを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないで下さい。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
＊コードやプラグの修理は販売店にご相談下さい。

接触禁止

雷が鳴っている時、絶対にAC電源プラグに触れないで下さい。
＊感電の原因となります。

分解禁止

絶対に分解したり・修理・改造は行わないで下さい。（キャビネットも外さないで下さい。）
＊火災・感電の原因となります。
販売店で点検・整備・修理をご依頼下さい。

禁止

濡れた手で電源プラグを抜いたり差したりしないで下さい。
＊感電の原因となります。

禁止

直射日光が当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かないで下さい。
＊キャビネットや部品の故障の原因となったり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

警告

禁止

湿気や埃の多い場所には置かないで下さい。
＊火災や感電の原因となります。

禁止

振動する場所やぐらつく台の上、傾いた所等、不安定な場所に置かないで下さい。
＊倒れたり、落ちたりして怪我の原因となります。

禁止

本機で布をかぶせたりしないで下さい。
＊内部に熱がこもり、火災の原因となりますので、ご注意ください。
＊テーブルクロスをかけたり、じゅうたんや、布団の上に置かないで下さい。
＊本機を押し入れなどの風通しの悪い狭いところで使用しないで下さい。

注意

注意

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
＊差込が不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。
＊抜く時は、コードを引っ張らずに、必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。

注意

電源プラグの埃や汚れを定期的に乾いた布でふき取ってください。
＊プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁劣化となり、火災の原因となります。

注意

効果的な放熱の為に、他の機器との間は少し離し置いてください。
＊間隔が不十分ですと、火災・故障の原因となります。ラック等に設置する時は、本機の前後左右天面から15cm以上の隙間を空けてください。

注意

各機器との接続の時は、必ず電源スイッチを切り電源プラグを抜いて、取扱説明書に従って接続してください。
＊それぞれの機器の取扱説明書をよくお読み指定のコードを使用して接続してください。

注意

本機を移動する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、外部接続コードを離してください。
＊感電の原因となります。

注意

お手入れの際は、安全の為、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。
＊感電の原因となります。

注意

長時間使わない時は必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
＊火災の原因となることがあります。

注意

本機を落としたりして破損した場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
＊そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理を依頼下さい。ご自身での修理は危険ですから、絶対にお止めください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

本機の中に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源コンセントから本体の電源プラグを抜いてください。
＊そのまま使用すると、火災・感電の原因となりますので、販売店にご相談下さい。

注意

変な臭いや音がしたり、煙が出たらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。＊そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理を依頼して下さい。ご自身での修理は危険ですので、絶対におやめ下さい。

CD・DVDディスクについて

ディスクに関する用語について

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

タイトル：DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
トラック：音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」と言います。
ディスクによっては、各番号が記録されていないものもあります。

取扱上のご注意

ディスクの取扱いについて

- ディスクを汚さないように、再生面には触れないでください。
- ディスクに紙やテープを貼らないでください。
- ディスクに直射日光や熱源を当てないでください。
- 再生後はディスクケースに保管してください。

データの破損について

お客様の取扱いや、静電気、電気的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。

ディスクの掃除

再生前に、きれいな柔らかい布でディスクの中心から放射状に拭いてください。

結露について

結露が発生した場合、ディスクを本製品に挿入すると、ピックアップレンズやディスクに水滴がつくことにより、ディスク信号が読み取れず正常に動作しないことがあります。本製品はよく乾燥した状態でお使いください。結露が発生してしまった場合は、本体の電源を入れたまま、乾燥のため数時間放置してください。

再生可能ディスクについて

本製品では、以下の仕様のディスクを使用できます。

ディスク名称	記録内容	ディスクのサイズ
DVDビデオディスク	映像+音声	12cm
音楽用CD	音声	12cm

また、以下のディスクも再生することができます。
・DVDビデオフォーマットのDVD-Rディスク
・CD-DVフォーマット(音楽用CD)のCD-R/RWディスク
・MP3またはJPEG形式のファイルが記録されたCD-R/RWディスク

※ 上記のディスクであっても、ディスクの相性、データの作り方等によって再生できない場合があります。
※ DVD-R/RWディスクの場合はVRモードで録画を行い、最後にファイナライズという 処理を行わないと再生できません。
詳しくはディスクに録画を行ったDVDレコーダーやPC等 の取扱説明書をお読みください。
※ 本製品はVRモードで記録されたディスクを再生することができます。

DVDのディスクやパッケージには、次のようなマークが表示されています。
このようなマークの表示されているディスクが対応できます。

Multi-angle

Dolby Digital

Subtitle choices

KODAK picture CD

Audio choices

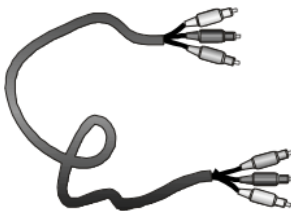
Mp3 files on CD-R/CD-RW

DVD Video

付属品の確認　/　リモコンについて

付属品の確認　※全て揃っているか最初に確認してください。

リモコン（1個）

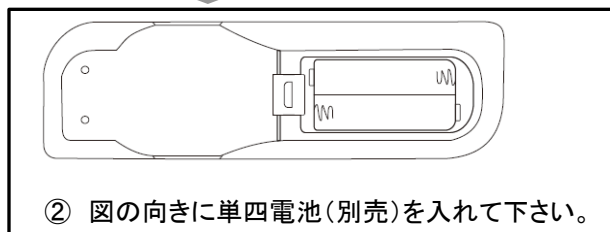
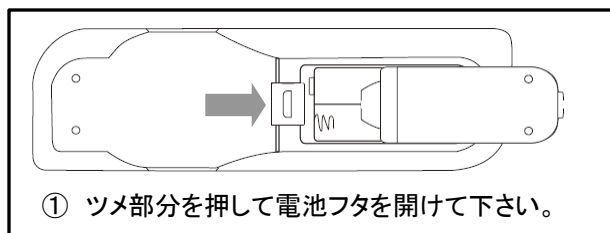
単4形乾電池（2本）

AVケーブル（1本）

取扱説明書・保証書（1冊）

リモコンについて

① ツメ部分を押して電池フタを開けて下さい。

② 図の向きに単四電池（別売）を入れて下さい。

③ フタを閉めてご使用下さい。

リモコン使用上のご注意

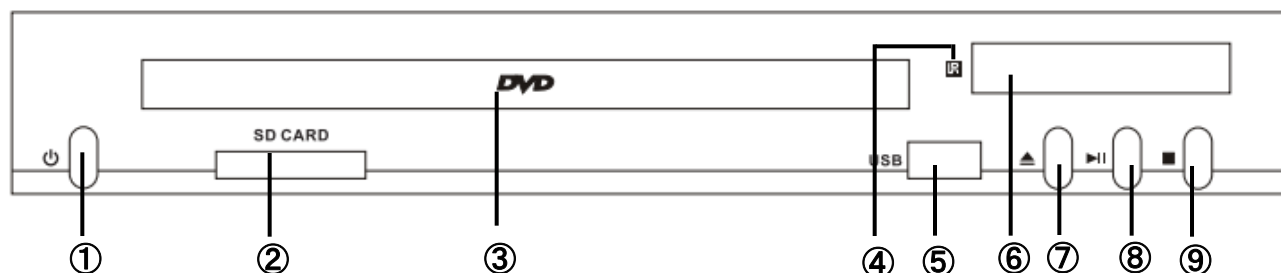
●本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が狭くなることがあります。
●本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
●リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯等の強い光を当てないでください。
●不要になった電池は不燃物ゴミとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
●使用中にリモコンがきかない現象が生じた時は、電池の交換を行ってください。

リモコンの使用

リモコン使用時はリモコン発光部を本体正面の受光部へ向けてください。
受信角度は±30°、距離は5m以内です。

各部名称とはたらき

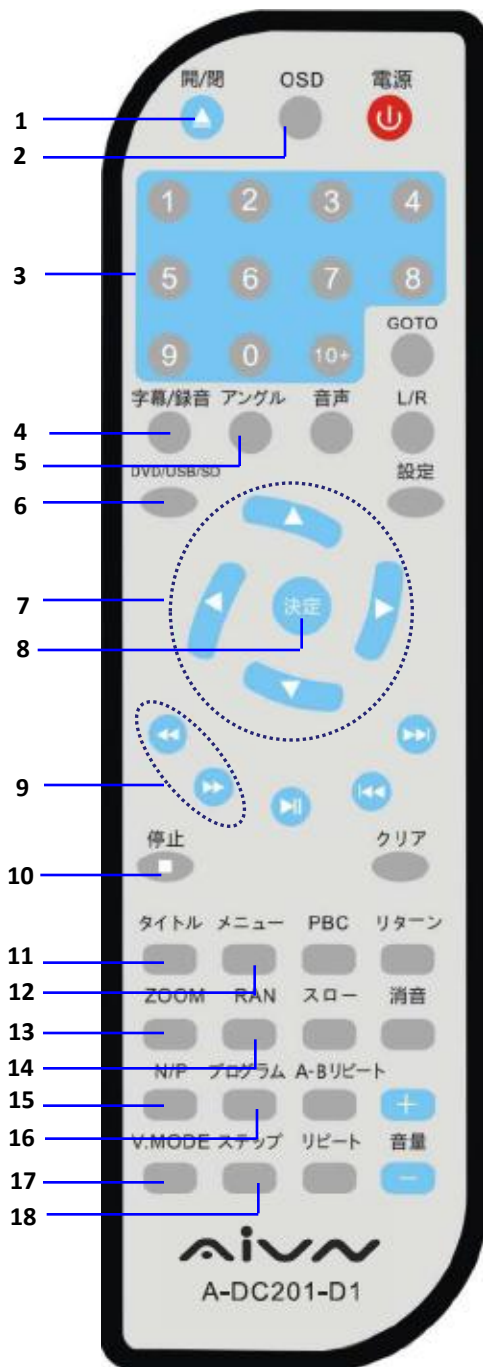
本体について

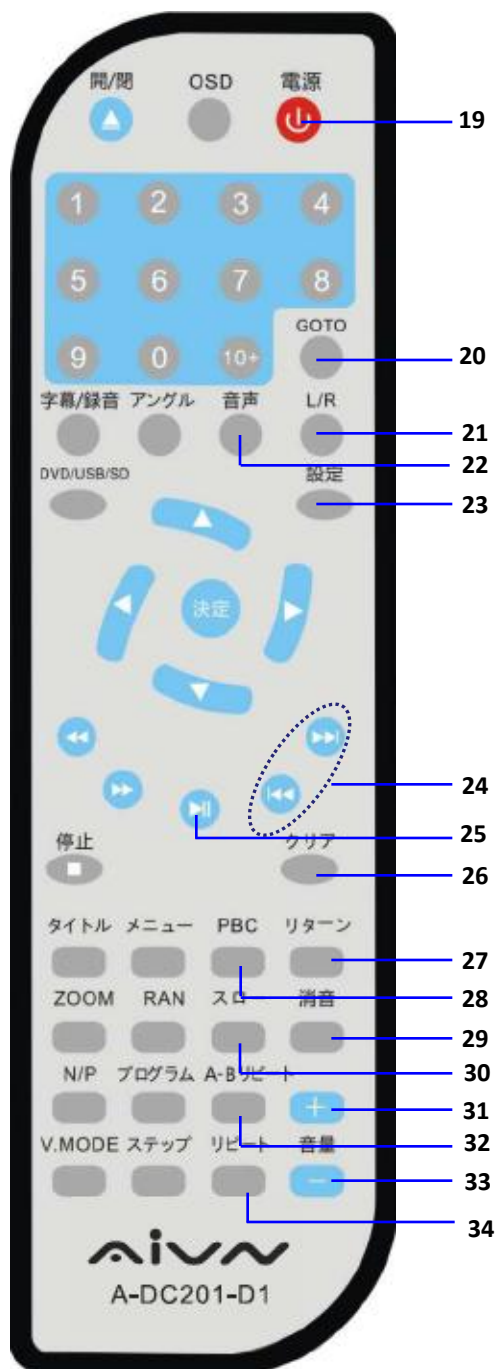
本体前面

①電源ボタン　②SDカードスロット　③トレイ
④リモコン受光部　⑤ USB挿入口　⑥ディスプレイ

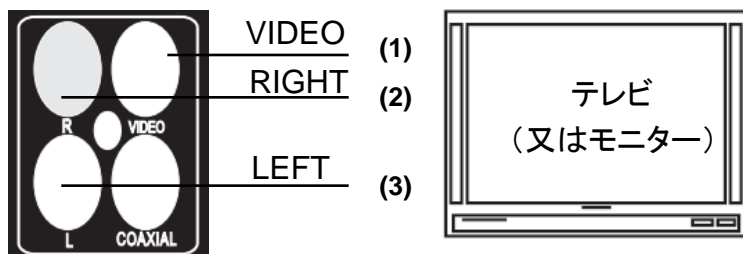
⑦ ▲ トレイ開閉ボタン　⑧ ▶II 再生/一時停止ボタン　⑨ ■ 停止ボタン

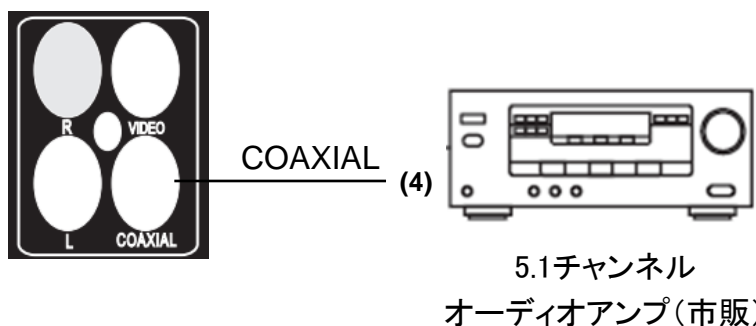
本体背面

⑩電源コード　⑪音声出力R(右)　⑫音声出力L(左)
⑬同軸デジタル出力端子　⑭映像出力端子

リモコンのはたらき

1. 開/閉ボタン
　トレイを開閉する際に使用します。
2. OSDボタン
　ディスクの再生中、現在の情報を表示します。
3. 数字ボタン
　任意のシーンや曲の番号を直接入力する
　際に使用します。
4. 字幕/録音ボタン
　DVDディスク再生中、字幕を切換える際に使用します。
　CDディスク再生中、CD音楽をUSBへ録音します。
5. アングルボタン
　ディスクの再生中、映像のアングルを切換える
　際に使用します。
6. DVD/USB/SDボタン
　DVD/USB/CARDを切換える際に使用します。
7. 「▲▼◀▶」方向ボタン：
　メニューの選択に使用します。
8. 決定ボタン：　設定/選択した項目を実行します。
9. ⏪ 早戻り/ ⏩ 早送りボタン
　ディスク再生中、早戻り/早送りを行います。
10. 停止ボタン：　再生を停止します。
11. タイトルボタン：
　タイトルメニューを表示します。
12. メニューボタン
　ディスクの再生中、メインメニュー画面に戻ります。
13. ZOOMボタン：
　ズームの倍率を変更します。
14. RANボタン
　ランダム再生をします。
15、N/Pボタン
　テレビのシステムを選択します。
16. プログラムボタン
　プログラム再生の設定の際に使用します。
17. V.MODEボタン
　映像出力を選択する際に使用します。
18. ステップボタン
　映像のコマを1つずつ見る際に使用します。

リモコンのはたらき(つづき)

19. 電源ボタン：
    電源をON又はOFFにさせます。
20. GOTOボタン：
    再生時間を指定します。
21. L/Rボタン
    モノラル/ステレオ切換の際に使用します。
22. 音声ボタン
    ディスクの再生中、音声を切換える際に使用します。
23. 設定ボタン
    設定メニュー画面を表示します。
24. スキップ送り/ スキップ戻しボタン
    ディスクの再生中、スキップ送り/スキップ戻しを行います。
25. 再生/一時停止ボタン
    再生を開始します。
    再生中に押すと一時停止します。
26. クリアボタン
    入力した内容を訂正する際に使用します。
27. リターンボタン
    ディスクメニュー画面やトラックリストに戻る際に使用します。
28. PBCボタン
    VCDの再生中、メニューを表示します。
29. 消音ボタン
    ディスクの再生中、音を消す際に使用します。
30. スローボタン
    スロー再生をします。
31. 音量＋ボタン：
    音量を上げます。
32. A-Bリピートボタン
    ディスクの再生中AからBまでリピートできます。
33. 音量-ボタン：
    音量を下げます。
34. リピートボタン
    ディスクの再生中、チャプターやタイトルごとにリピートできます。

外部機器への接続

付属のAVケーブルを使用して、
（1）VIDEOからテレビの映像入力端子に接続
（2）RIGHTからテレビの右音声入力端子に接続
（3）LEFTからテレビの左音声入力端子に接続

5.1チャンネル
オーディオアンプ（市販）

（4）COAXIAL端子を、アンプの
同軸デジタルオーディオ入力と接続
（接続ケーブルは市販）

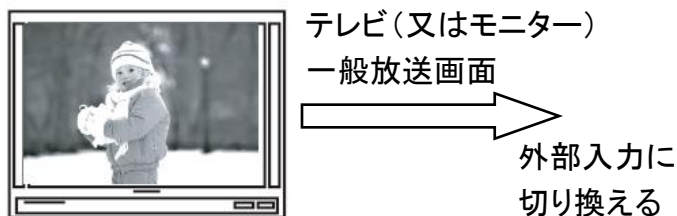
正しく接続されているか確認

（1）本機を接続したテレビ（またはモニター）
電源を入れる。

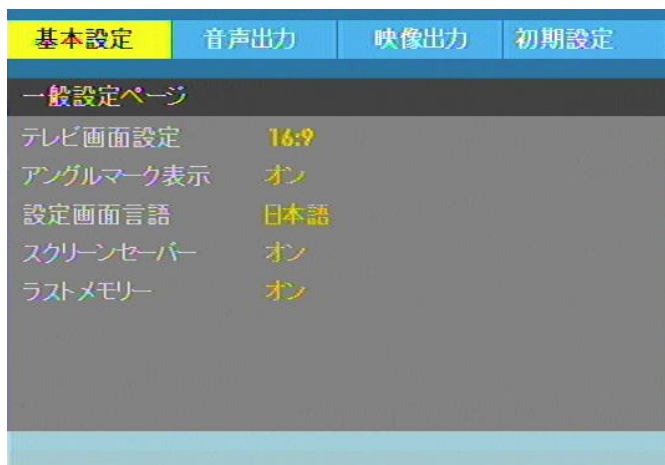
（2）テレビ（またはモニター）の入力を
外部入力に切り換えると起動画面が表示。

テレビ（又はモニター）
一般放送画面

外部入力に
切り換える

起動画面

テレビ画面設定を変える

テレビ画面設定に合せる

1. リモコンの「設定」ボタンを押して「基本設定」設定画面を呼び出します。
2. リモコンの「 ▼ 」ボタンを押して「テレビ画面設定」を選択します。
3. リモコンの「 ▶ 」ボタンを押し、サブメニューに入り、「▲▼」ボタンでテレビ画面比率を選択し、「決定」ボタンを押してください。

4:3/PS

本機では対応しておりません。

4:3/LB

本機では対応しておりません。

16:9ワイド

横縦比16:9のワイド画面に設定されます。

DVDの基本操作

ここでは本製品をお買上頂いてからDVDを再生するまでの流れを簡単にご説明いたします。
各手順の詳細な内容については、この説明書のそれぞれの項目をご覧ください。
DVD操作をする前に、確実にモニターと接続されていることを確認してください。

●使用準備

リモコンに電池をセットします。
本体背面の電源プラグを家庭用のコンセントに差し込み、本体前面の「電源」ボタンを押し、
接続したテレビの入力モードをDVDに切り換えます。

●ディスクを入れる

ディスクトレイを開けて、次にDVD・CDディスクをセットし、ディスクトレイを閉じてください。

●再生の開始

カバーを閉じるとロードが始まりDVDのタイトル画面が表示されます。
タイトル画面が表示されたら、本体の「 ▶II 」またはリモコンの ボタンを押すと、
再生を開始します。
※一部のディスクでは、ディスクトレイを閉じると自動的に再生が開始されます。

●一時停止

再生中に ボタンを押すと再生を一時停止します。
もう一度押すと、再生を再開します。

●停止

再生中に「停止」 ボタンを押すと再生を停止し、画面に「再生ボタンで続きスタート」
と表示されます。
この状態で ボタンを押すと先ほどの場面から再生を再開します。
もう一度「停止」ボタンを押すと再生を完全に停止します。

DVD再生中にできること

・音量の調節

再生中に「音量＋」または「音量－」ボタンを押すと、音量を調整することができます。
消音ボタンを押して、音を消すことができます。

・リピート再生

再生中に「リピート」ボタンを押すと、くり返し再生を行うことができます。
ボタンを押すたびにくり返しの方法が切換わり、状態が画面に表示されます。

チャプター→タイトル→オール

・早送り・早戻り

再生中に ⏩ または ⏪ ボタンを押すと、早送り又は早戻り再生をすることができます。
再生速度はボタンを1回押すごとに変わります。

通常再生　→2X　→4X　→8X　→16X　→32X

・場面のスキップ

再生中に ⏭ ボタンを押すと、1つ次のチャプターに移動します。
再生中に ⏮ ボタンを押すと、1つ前のチャプターに移動します。

・場面を選択して再生を行う

「タイトル」ボタンを押すと、DVDのメインメニュー画面に入ります。
DVDの内容が画面に表示され、再生するチャプターや字幕等を簡単に選択することができます。
※　ディスクによっては、メインメニュー画面とタイトル画面が同一の場合があります。
※　ディスクによっては、上記のボタンに対応していない場合があります。

・プログラム再生

再生中に「プログラム」ボタンを押し、画面にプログラム再生ウインドウが表示されます。
数字ボタンでチャプター番号を入力し、決定ボタンで決定します。
（01－09のチャプター番号は数字ボタンの「1－9」を押し、
10以上のチャプター番号は数字ボタンの「10＋」ボタンを押します。）
「▲▼◀▶」方向ボタンで、「終了」、「スタート」が選択できます。
「スタート」を選択し、決定ボタンを押すと、チャプターを入力した順番で再生することができます。

解除する時は「プログラム」ボタンを押し、プログラム入力画面の「停止」を選択し、決定ボタンを押して終了してください。
※注意：
1.「停止」は全て解除できます。
2.入力した番号を訂正したい場合は、先に「停止」して、正しい番号を選んでください。
3.ディスクによってはプログラム再生ができないものもあります。

DVD再生中にできること（つづき）

※アングル、音声、字幕の切換は、ディスクが対応している場合にだけ使用できます。

・アングル切換

再生中に「アングル」ボタンを押すと映像のアングルを切換えることができます。
ボタンを押す回数によって、ディスクに記録された、異なるアングルの映像に切換わります。

※注意：

アングルに対応していないディスクでは、この機能は使えません。
アングル対応かどうかはDVDディスクのジャケットやケースカバーをご覧ください。

・音声切換

再生中に「音声」ボタンを押すと、音声を切換えることができます。
「音声」ボタンを押すたびに、音声の言語が切換わります。
切換可能な音声の数と、再生している音声の番号が画面に表示されます。
この表示は、「音声」ボタンを押してから数秒後に自動的に消えます。
※ディスクによっては、DVDのタイトル画面から音声切換を行わなければならないものもあります。

・字幕切換

再生中に「字幕/録音」ボタンを押すと、字幕を切換えることができます。
「字幕/録音」ボタンを押すたびに、字幕の言語が切換わります。
切換え可能な字幕の数と、再生している字幕の番号が画面に表示されます。
この表示は、「字幕/録音」ボタンを押してから数秒後に自動的に消えます。
※ディスクによっては、DVDのタイトル画面やDVDメニュー画面から字幕切換を行わなければ
ならないものもあります。

・ズーム切換

再生中に「ZOOM」ボタンを押すと、画面の表示倍率を切換えることができます。
「ZOOM」ボタンを押すたびに画面の表示倍率が切換わり、再生している画面の倍率が画面に
表示されます。

通常サイズ→ 2X → 3X → 4X → 1/2→1/3→1/4

・再生情報を見る

再生中に「OSD」ボタンを押すと、画面上に再生中のタイトル、チャプターの経過時間や残り
時間など、現在再生中のディスクの再生状況が表示されます。

・GOTOボタン

再生中、「GOTO」ボタンを押すと、画面にチャプター番号または時間が表示されます。
「▲▼ 」方向ボタンで項目を選択し、「決定」ボタンを押し、リモコンの数字ボタンで再生チャプター
または再生時間を設定し、設定した内容から再生します。
終了するには、「GOTO」ボタンを押します。

SDメモリーカード・USBメモリーについて

本機で使用できるSDメモリーカードについて

●SDメモリーカード、ミニSD・マイクロSDカード（専用アダプターが必要です）が使えます。
●使用可能なSDメモリーカードの容量は、8GBまでとなりますが、記録された情報を読み取りが完了し、テレビ画面に表示されるまでお待ちください。
●使用可能領域は表示容量より少なくなります。
☆ 8GB以上のSDメモリーカードに関しては動作致しませんので、できる限り8GB以下の物をご使用ください。

SDメモリーカードの取扱いに関する注意

●小さなお子様の手の届く場所には、SDメモリーカードを絶対置かないでください。誤って飲み込み、窒息する危険があります。万一飲み込んだ場合は直ちに医師の診断を受けてください。
●SDメモリーカードに貼られているラベルははがさないでください。
また、新たにラベルやシールを貼らないでください。
●SDカードを取り外す際には本体の電源をお切りください。
●SDメモリーカードに鉛筆やペンで文字などを書かないでください。SDメモリーカードが故障したり、データが損傷する場合あります。
●SDメモリーカード内の大切なデータはパソコン等にバックアップを取っておくことをお勧めします。
☆SDメモリーカード本体及びデータに関しては一切保証は致しません。
●煙が出たり、変な臭いがする等、異常を感じたら、すぐにご使用をやめ、電源をお切りください。
●SDメモリーカードの分解や改造は絶対にしないでください。
●SDメモリーカードにはプラスチック、金属部品が含まれています。燃えると危険ですので廃棄する場合は各自治体の指示に従ってください。
●SDメモリーカードを挿入したまま本体を移動しないでください、移動中に落としてしまったり、物に当てるなどしてしまった場合、破損したりけがをする原因となります。
●SDメモリーカードの保管場所に関して次のことに注意してください、故障の原因となります。
湿気やほこり、油煙の多い場所で使用、保管しないでください。
直射日光の当たる場所やストーブやヒーターなどの熱源のそばで使用、保管しないでください。
密閉された自動車の中(特に夏期)などに長時間放置しないでください。
●SDメモリーカードの端子部に指や金属で触れないでください。故障の原因となります。
●SDメモリーカードに物を当てたり、投げる、落下させるといった強い衝撃を与えないでください。
●SDメモリーカードの種類によっては処理速度が遅くなる場合があります。

本機で使用できるUSBメモリーについて

●本機で再生できるUSBメモリーのファイルはJPGE、WMA、MP3、AVIのいずれかでDRMコピープルテクト（著作権保護）のかかっていないファイルのみです。
●本機とパソコンをUSBケーブルで接続して音楽ファイルや画像ファイルを再生することはできません。
●USBハブには対応しておりません。
●容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
●U3機能対応、指紋ロック、セキュリティ機能がついているUSBメモリー機器には対応しておりません。
●USBメモリー機器は、容量が8GB以下（1パーティション）のもので動作します。
☆8GB以上のUSBメモリー機器に関しては動作致しませんので8GB以下の物をご使用ください。
●ハードディスクタイプのUSB機器は動作が不安定になる恐れがあります。
●以下の製品については使用できません。

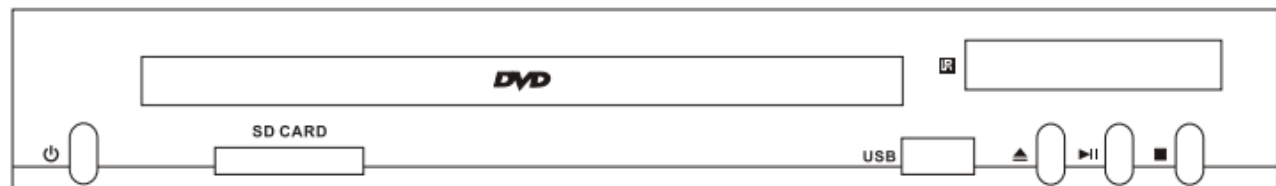
アップル製デジタルミュージックプレーヤー
「i-pod/i-Phoneシリーズ」

ソニー製デジタルミュージックプレーヤー
「ウォークマンシリーズ」

松下電器製SDオーディオプレーヤー
「D－snapオーディオシリーズ」

東芝製デジタルミュージックプレーヤー
「gigabeatシリーズ」

●本機は全てのUSB機器との動作交換を保証するものではありません。

外部メディアの読込み

本体前面

●SDカードの接続

（SDカードスロットは本体前面にあります）

SDカードの表面を上にして
SDカードスロットに差込みます。

●USBメモリーの接続

（USB挿入口は本体前面に
あります）

USBの表面を上にして
USB挿入口に差込みます。

外部メディアの読込み

DVD・CD、SDとUSBが入っている状態では、DVD・CDを優先して再生します。
SDとUSBを再生するには、リモコンの「 DVD/USB/SD 」ボタンを押し、次のメニューが液晶モニターに表示されます。

DVD
CARD
USB

SDカードを再生するには、「▲▼ 」方向ボタンを使って、「CARD」を選択し、「決定」ボタンを押し、しばらくして、「SD」が表示され、「決定」ボタンを押し、SDカードの内容を再生します。

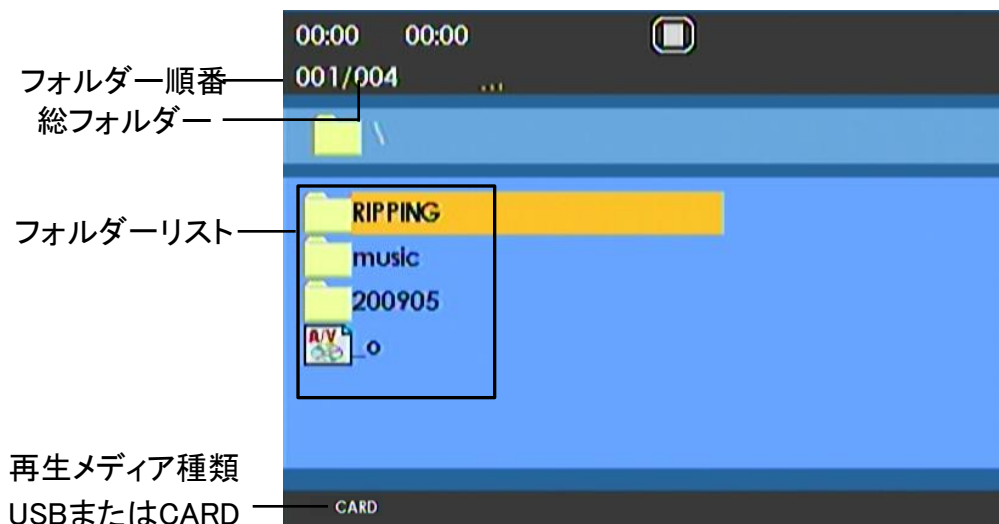
USBを再生するには、「▲▼ 」方向ボタンを使って、「USB」を選択し、「決定」ボタンを押し、しばらくして、「USB1」が表示され、「決定」ボタンで押し、USBメモリーの内容を再生します。

USB/SD再生する場合にも、USB/SD再生状態からDVD/CD再生に切換える場合にも、同じ操作をしてください。

※注意：
データの読込み中や再生中にはUSB/SDの出し入れは行わないでください。
USBメモリーは、８GBまでサポートしております。
（８GB以上のUSBメモリーに関しては動作致しません）
WMA、MP3、JPEG、AVI(720×576）形式ファイルに対応しています。

外部メディアの再生---メインフォルダー画面

USB又はSDカードを再生すると、外部メディアの内容が表示されます。
WMA・MP3形式・JPEG形式・AVI(最大解像度:720x576)のファイルを再生することができます。
再生画面でフォルダーやファイルを選択して再生する内容を決定します。

・ 外部メディア再生時のメインフォルダー画面(例)

フォルダーやファイルの選択には下記のボタンを使用します。

「▲▼」方向ボタン: 上下のファイルを選択する時使用します。

「決定」ボタン: 選択の決定に使用します。
フォルダーを選択して「決定」ボタンを押すと、そのフォルダーの内容が表示され、再生したいファイルを選択し「決定」ボタンを押して再生を開始します。

フォルダーリストに戻す:「◀」方向ボタンを押し、フォルダーリスト画面に戻ります。

※注意:
JPEGデータの読込みや再生には、メモリー内容の大きさにより、時間がかかる場合があります。

・ **WMA・MP3再生時の画面（例）**

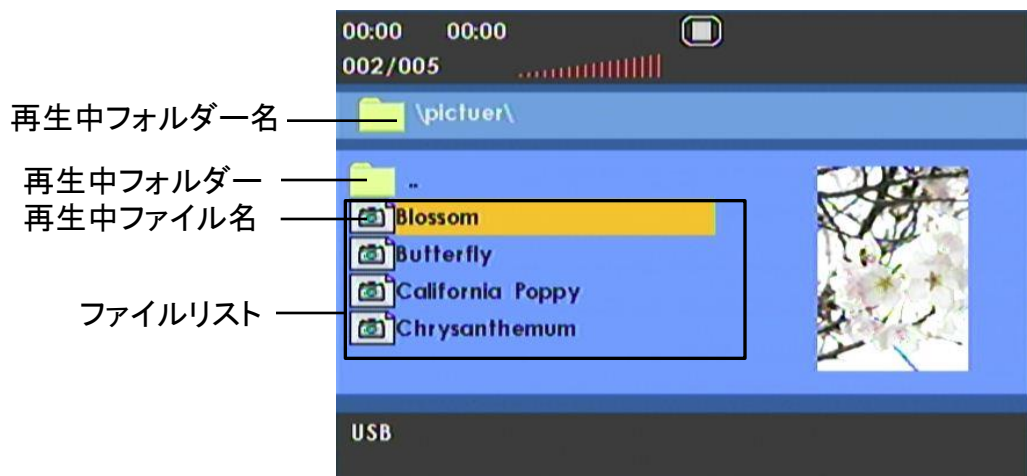
WMA・MP3ファイルを再生時の操作

「音量+/音量−」ボタン： 音量を上げ下げします。
「A−Bリピート」ボタン： A−Bリピート再生します。

「リピート」ボタン：
「リピート」ボタンを押し、リピートモードを選びます。押すたびに表示が切り替わります。
シングル再生➔シングルリピート➔フォルダーリピート➔フォルダー再生に選択します。
シングル再生： 一曲だけ再生
シングルリピート： 再生中の曲だけ繰り返す
フォルダーリピート：フォルダー全体を繰り返す
フォルダー再生： フォルダー全体を再生（フォルダー最後のファイルを再生完了後停止します。）
※注意：
電源をオン/オフしたり、ディスクカバーを開閉した時は、リピート再生は解除されます。

「 / 」**ボタン**： 早送り/早戻りをします。
「 」**ボタン**：再生/一時停止をします。
「停止」ボタン：再生を停止します。

外部メディアの再生（つづき）---JPEGファイルの再生

・ **JPEG再生時の画面（例）**

JPEGファイルを再生時の操作

「リピート」ボタン：
ファイルリスト表示画面で、「リピート」ボタンを押し、リピートモードを選びます。
押すたびに表示が切り替わります。
シングル再生➔ シングルリピート➔ フォルダーリピート➔ フォルダー再生に選択します。
シングル再生： 一枚だけ再生
シングルリピート： 再生中のファイルを繰り返す
フォルダーリピート： フォルダー全体を繰り返す
フォルダー再生： フォルダー全体を再生（フォルダー最後のファイルを再生完了後、停止します。）
※注意：
電源をオン/オフしたり、ディスクカバーを開閉した時は、リピート再生は解除されます。

「停止」ボタン：「停止」ボタンを押すと、ファイルのリスト画面に戻ることができます。

回転して表示するには：
「▲▼◀▶」ボタンを押すと、画像を回転して表示することができます。

ズーム再生するには：
再生中に「ZOOM」ボタンを押すと、画面の表示倍率を切換えることがで きます。
「ZOOM」ボタンを押すたびに画面の表示倍率が切換わり、再生している画面の倍率が画面に
表示されます。（ズーム100%→125%→150%→200%→75%→50%）
※拡大表示中に「▲▼◀▶」の方向ボタンを押すと、画像を動かして表示範囲外になっている部分を見ることができます。
ズーム中、スキップ送りのボタンを押して正常再生続きます。

外部メディアの再生（つづき）---AVIファイルの再生

本機では、 **最大解像度：720×576ピクセル** のAVIファイルが再生可能です。

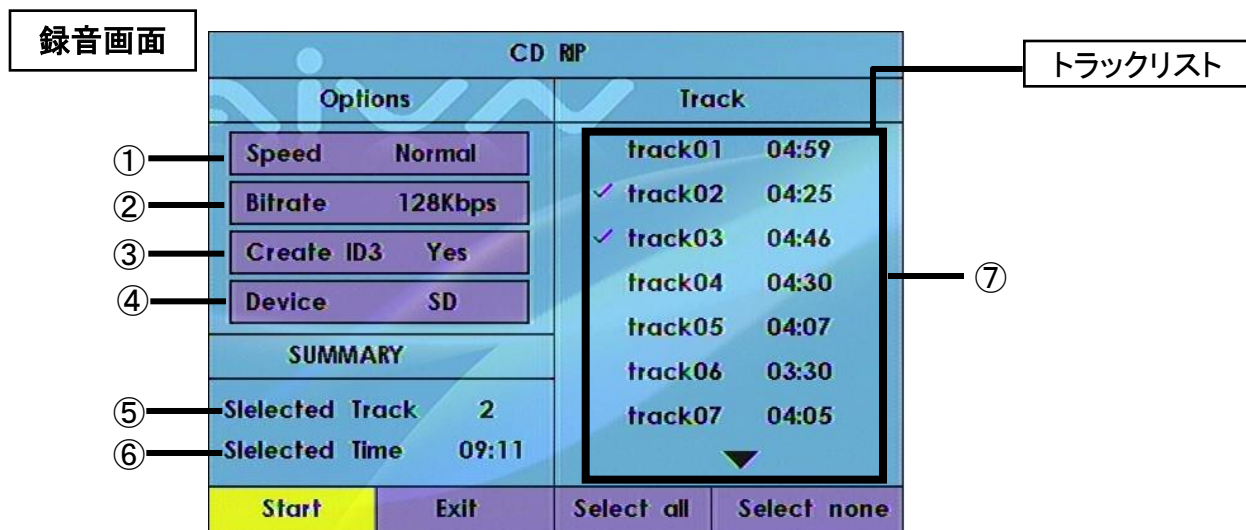
AVIファイルを再生時の操作について、
●一時停止
●音量の調節
●リピート再生
●早送り・早戻り
●場面のスキップ
●ズーム
上記の操作はDVDと同様です。
11ページから13ページまでの説明をご参照ください。

●停止
リモコンの「停止」ボタンを押すと、ファイルリストに戻ります。

CDからUSB・SDに録音する

※注意： 重要なデータは必ずバックアップ保存しておいてください。

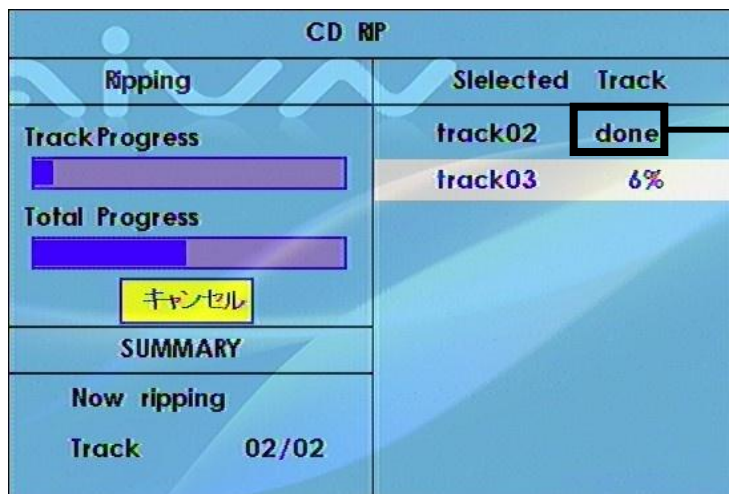
・USBまたはSDカードに空き容量がないと「DISC　FULL」と表示され、記録できません。
・本機ではUSBまたはSDカードに記録されているデータを削除することはできません。
・録音中、本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
・本機で録音した場合は、MP3で記録されます。
・容量の大きいメモリーを接続した時は、読込みに多少時間がかかることがあります。
・本機ではフォルダ名やファイル名の入力は出来ません。本機ではMP3/WMAファイル形式のディスクからの録音は出来ません。市販の音楽CDのみとなります。

1. USBまたはSDカードを専用端子に入れてください。
2. CDディスクを再生してください。
   リモコンの「字幕/録音」ボタンを押すと、録音画面が表示されます。
   再生途中でも「字幕/録音」ボタンを押せば、曲の頭から録音できます。

3. 「▲▼◀▶」ボタンで、項目を移動します。「決定」ボタンで決定します。
   ① 録音スピード：「決定」ボタンを押すごとに録音スピードが切替えられます。（Normal→Fast）
   ※Normal録音スピード状態では、ファイルを録音する同時に再生します。
   Fast録音スピード状態では、録音する時、同時に再生できません。
   ② ビットレート（圧縮率）：「決定」ボタンを押すごとに圧縮率が切替えられます。
   96kbps → 112kbps → 128kbps→ 192kbps→256kbps→320kbps
   この数値が大きいほど、音質はよくなりますが変換後のファイルサイズは大きくなります。
   ③ ID3　TAG式ファイルを作成します。
   ④ 録音先メディアの検出状態を表示します。
   ⑤ 選択されたファイル総数
   ⑥ 選択されたファイルの総再生時間

CDからUSB・SDに録音する（つづき）

⑦トラックの選択：
「▲▼◀▶」ボタンで、トラックリストに移動し、好みのトラックを「決定」ボタンで選択し、選んだトラックの 頭にチェックマーク（✔）が入ります。
「select all」を選択し、すべてのトラックを選択され、
「select none」を選択し、選択されたトラックがキャンセルされます。

4. 選択完了後、「▲▼◀▶」ボタンで「start」欄に移動し、「決定」ボタンを押すと、録音を開始します。録音済みのファイルは「done」が表示されます。
録音中、キャンセルする場合には、「決定」ボタンを押してキャンセルします。
㊟キャンセルされるファイルは1%録音されても1つファイルとして保存されます。

録音中

録音済みファイル

5. 選択されたトラックを録音完了後、録音画面に戻ります。
「▲▼◀▶」ボタンで「Exit」欄に移動し、「決定」ボタンを押すと、録音画面を終了します。

録音されたファイルはUSBまたはSDメモリーの「CDA_RIP」フォルダーに保存されています。
ファイル名はTRACK001から録音順番に1つずつ番号が増えていきます。
㊟既に途中まで録音されている曲は、本機が未登録部分を探して録音することができません。
同じ曲でも再度録音する場合には、新しいファイルで保存されます。

※注意：
CDを録音する場合はUSB/SDが接続していることを確認して録音してください。
録音中や録音画面表示中は振動を与えたり、USB/SDを抜かないでください。

システム設定

設定画面での操作

設定変更をする際はDVDディスクを取り外した状態で行ってください。

リモコンの「設定」ボタンを押すと、下図の設定画面が表示されます。
メインメニューでは5つの項目について設定することができます。

メニューの最初の画面でリモコンの「▲▼◀▶」ボタンで項目を選択してください。
選択されている項目には、ハイライト表示されます。
「▶」ボタンでサブメニューを選び、それぞれの設定をします。

※　詳細項目の選択と設定内容の選択では、「◀」ボタンを押すとメインメニューに戻ります。
※　「設定」ボタンを押すと、設定を終了します。

システム設定(つづき)

基本設定

テレビ画面設定

画面のサイズ・比率を設定します。

ディスクに画面サイズ情報が記録されていないと、
設定が反映されない場合があります。

設定画面言語

設定画面時の言語を設定します。

ディスクに収録されていない言語は設定できません。

ラストメモリー

ラストメモリー再生の有無を設定します。

ラストメモリーをオンに設定すると、DVDやCDの
再生中に停止ボタンを押して、予備停止状態に
した場合、最後に再生していた部分を記録して、
再生ボタンを押すと、前の再生していた部分から
再生を始めます。

アングルマーク表示

アングルマーク表示の有無を設定します。

アングルに対応していないディスクでは、この機能は
使えません。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの有無を設定します。

オンの場合、5分間出力がないとテレビの画面保護
のためにスクリーンセーバーが動作します。

システム設定(つづき)

音声出力

スピーカー設定

ダウンミックス設定を行います。

1.「LT/RT」を選択した場合、再生DVDソフトの右と左のオーディオチャンネルが別々に記録されていれば、左右分かれた音声が再生されます。

2.「ステレオ」を選択した場合、左右の音声がステレオの状態で再生されます。

SPDIF出力

SPDIF設定を行います。

1.SPDIFオフ:
本機に外部アンプが接続されていない場合。

2.SPDIF/RAW:
5.1CHの音を再生するため、本機と外部アンプが同軸ケーブルで接続されている場合。

3.SPDIF PCM:
本機内蔵のドルビーレコーダーで動作させる場合。

イコライザ設定

イコライザ設定を行います。

残響設定

残響の設定を行います。

システム設定(つづき)

映像出力

映像出力

映像出力を設定します。

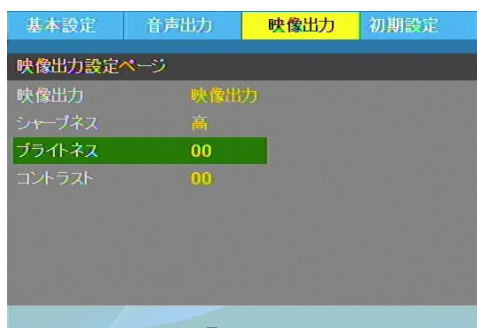
本機がテレビに接続されている場合、映像出力を選択します。

シャープネス

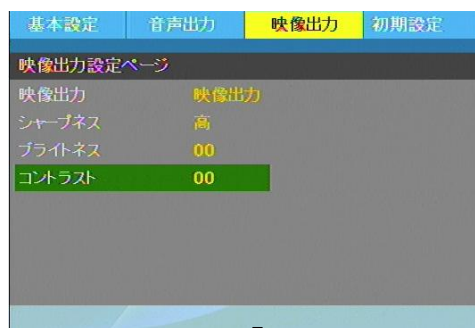
画面のシャープネスを設定します。

高・中・低の調整ができます。

ブライトネス

画面のブライトネスを設定します。

−20から+20まで調整できます。
「◀ 」ボタンで減らし、「 ▶ 」ボタンで増えます。

コントラスト

画面のコントラストを設定します。

−16から+16まで調整できます。
「◀ 」ボタンで減らし、「 ▶ 」ボタンで増えます。

システム設定（つづき）

初期設定

テレビタイプ

お使いのテレビに合せて設定します。

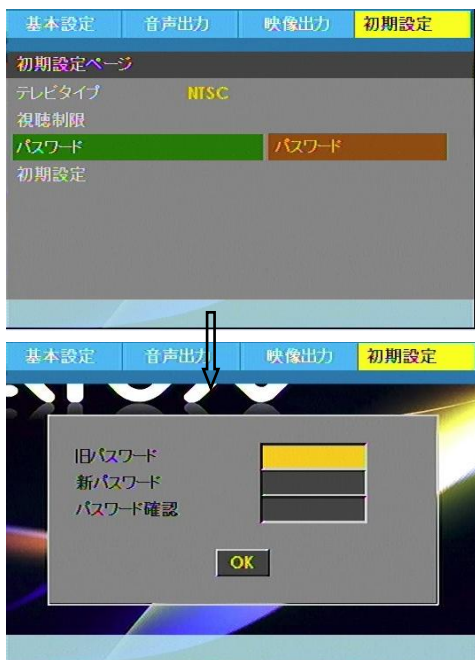
国内ではNTSCです。

視聴制限

視聴制限のレベルです。

設定したレベル以上のディスクを見る場合、パスワードの入力が必要となります。ディスクによってはこの機能に対応していない物もありますので、ご注意ください。

パスワード

パスワードの変更を設定します。

初期設定のパスワードは「136900」です。

初期設定

全ての設定を初期状態にリセットします。

初期設定の「リセットオン」を選択し、「決定」ボタンを押します。

トラブルシューティング

故障かな？と思った時は、下記の項目をもう一度チェックしてください。
また、一度電源切ってから、再度起動してみてください。
それでも正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社カスタマーサポートにご連絡ください。
（各項目の詳細は、この説明書の対応する項目をお読みください）

症状	処置
電源が入らない	電源プラグをコンセントにしっかり挿入し、再度電源を入れてみてください。
リモコン操作ができない	電池の＋/－は正しく入っていますか?
	リモコンと本体の受光部の間に物があると動作しない場合があります。
映像・音声が出力されない	スピーカーケーブル/映像ケーブルが正しく接続されていますか? 入力・出力を確認してください。
	テレビの外部入力の変更をしましたか?
	出力選択は正しいですか? 接続、映像出力方法を選択してください。
音が出ない	テレビや本製品の音量が最小または消音になっていませんか?
	AVケーブルが正しく接続されていますか?
ディスク内のファイルが表示されない	ディスク作成時に正しいディスクを処理しましたか?
SD/USB操作ができない。	USBとカードは正しく入っていますか。 正しく入れ直してみます。
SD/USBの内容が再生できない。	録音データに著作権保護機能がかかっていませんか。 本機では著作権保護機能のかかったデータには対応できません。

トラブルシューティング（つづき）

症状	考えられる原因・確認事項
モノクロ画像、画面が波打つ	N/Pボタンを押してテレビシステムを切り換えてください。
ディスクが再生されない	ディスクに傷や汚れが無いことをご確認ください。
	ディスクのリージョンコードがプレーヤーと合っていない可能性があります。リージョンコードの合わないディスクは再生することができません。
	ディスクを表裏逆にセットしていませんか。 印刷のある面が上になるようにディスクカバーにセットしてください。
	視聴制限機能が作動している可能性があります。ディスクの視聴制限の有無と、本機の設定をご確認ください。
	本機を冷たい場所から急に暖かいまたは湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。 電源を抜いて、本機の温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	温度が高い所や低い所で使用していませんか。 本製品の使用環境は0℃～40℃です。
	DVD-R/RWディスクの場合、ディスクに「ファイナライズ」という処理を行わないと再生できません。ファイナライズの行い方については、ディスクに録画を行ったDVDレコーダーやPC等の説明書をご確認ください。
	DVD－RとDVD-RWディスクの場合は、VRモードで録画が行われている必要があります。
	ディスク固有の問題の可能性があります。他のディスクが再生できるか試してみてください。

製品仕様

型番	A-DC201-D1
商品名	DVDプレーヤー
電源	100V　50/60Hz
本体サイズ	約225（W）×240（D）×38（H）mm
製品重量	約1200g
推奨動作温度	約0～40度
対応フォーマット	DVD、DVD-R/RW(VRモード・CPRM記録ディスクを含む）、 CD、CD-R/RW、MP3、JPEG、WMA、 AVI（最大解像度：720×576）
インターフェース	USB2.0端子
SDカードスロット	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード（最大8GBまで対応）
電源コード長さ	約1.3m
消費電力	15W
出力端子	ビデオ出力端子、同軸音声出力端子
付属品	説明書×1、AVケーブル×1、 リモコン×1、リモコンテスト用電池×2

※仕様は製品の改善・品質向上のため予告無く変更される場合があります。

※注意：

●SDカード・USBメモリーの機種、メーカー、年式等によっては正しく動作しない場合がございます。

●DVD-R/RW、CD-R/RWはデイスクの状態や記録状態、記録機器の状態によっては再生できない場合があります。

保証条件の内容

保証期間は、お買い上げの日から1年間（本体）です。※付属品は除きます。

保証期間内でも以下の場合は有料修理となります。ご確認ください。

●下記の事項

1、誤った使用、不当な修理、改造、分解で生じた故障または損傷。

2、お買い上げ後の落下、故意による破損、輸送等で生じた故障または損傷。

3、火災、天災地変、塩害、異常電圧、指定外電圧使用、等での生じた故障、損傷。

4、本書の提示がない場合。

5、本書にお買い上げ日、お客様名、販売名の記入がない場合。
又はユーザー保証登録がお済みでない場合。

6、一般家庭用以外（業務用、または異常な連続使用）にご使用の場合による損傷、故障。

7、使用時に起きる傷、色あせ、汚れ、または保管の不備で起きた損傷。

8、付属品の交換 。

●本書（保証書）は日本国内において有効です。

●インターネット、オークション、友人からの贈答品等の購入先からの商品保証書に
明記がない・領収書・購入履歴がない場合のみ、ユーザー保証登録（購入日、E-mail、
ご住所、お名前、電話番号）を明記してお知らせいただきますようお願い致します。
※購入を証明するものがあれば、ユーザー登録は必要ありません。

※保証期間中でも保証書のご指示が無い場合、有償修理となる場合があります。

サービスと保証

困った時のご相談は…製品カスタマーサポートへ

製品の操作方法でお困りの場合や製品に不具合があった場合などは
下記お問い合わせ先にご連絡ください。

フリーダイヤル　0120－572－818

携帯電話から　022－399－9678

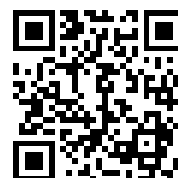
[受付時間] 平日 9:00～12:00　13:00～17:00(土・日・祝日は除く)

その他、お問合せは下記へ

TEL　03-6228-3961

[受付時間] 平日 9:00～12:00　13:00～17:00(土・日・祝日は除く)

E－mail専用サポート

携帯電話専用QRコード

info@reallifejapan.jp

電話が混み合い繋がらない場合もございます。
お手数ですが再度お時間をおいてお掛け直しくださいますようお願い致します。

商品保証書

【商品名】　DVDプレーヤー　A-DC201-D1

お買上日	年　月　日	保証期間	1年間（本体のみ）
お客様ご住所	TEL:		
お客様お名前	様		
販　売　店	印		

お買い上げげいただきまして誠に有難うございます。この保証書はお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

- この保証書をお受取になる時に販売年月日、販売店、取扱者印が記入してあることをご確認下さい。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管ください。

TEL:0120-572-818

ユーザー保証登録保証書

この度は、当社商品をお買い上げいただきありがとうございます。
この保証書、説明書を大切に保管してください。

インターネット、オークション、友人からの贈答品等の
購入先からの商品保証書に明記がない・領収書・購入履歴がない場合のみ、
ユーザー保証登録(購入日、E-mail、ご住所、お名前、電話番号)を明記してお知らせいただきますようお願い致します。
※購入を証明するものがあれば、ユーザー登録は必要ありません。

メールでの登録	info@reallifejapan.jp　このアドレスまで下記の内容をメールにしてください
FAXでの登録	FAX番号:022－355－7311まで記入してFAXしてください

購入店舗	
お名前	
電話番号	
ご住所(任意)	
E-mail(任意)	@
購入日	西暦　　年　　月　　日
購入商品	

弊社では、個人情報保護に関する法令に従い対応させていただきます。

※修理品を送付の際、着払いご希望のお客様は、恐れ入りますが運送会社の指定がございますので、カスタマーサポートまでお問い合わせ下さい。

カスタマーサポート

一般電話から　0120-572-818　　携帯電話から　022-399-9678
〒980-0013　宮城県仙台市青葉区花京院2－1－61第5タカノボルビル2F
カスタマーサポート　修理担当　宛

この製品についてのお問い合わせ、修理の
ご依頼は下記にご連絡ください。

<table>
<tr><th colspan="2">困った時のご相談は…製品カスタマーサポートへ</th></tr>
<tr><td>製品の操作方法でお困りの場合や製品に不具合があった場合などは
下記お問い合わせ先にご連絡ください。</td><td rowspan="5">Eーmail専用サポート
携帯電話専用QRコード

info@reallifejapan.jp</td></tr>
<tr><td>フリーダイヤル　0120ー572ー818
携帯電話から　022ー399ー9678
[受付時間] 平日 9:00～12:00　13:00～17:00(土・日・祝日は除く)</td></tr>
<tr><td>その他、お問合せは下記へ</td></tr>
<tr><td>TEL　03-6228-3961
[受付時間] 平日 9:00～12:00　13:00～17:00(土・日・祝日は除く)</td></tr>
</table>

電話が混み合い繋がらない場合もございます。
お手数ですが再度お時間をおいてお掛け直しくださいますようお願い致します。

A-DC201-D1　バージョン1（2012年11月）